

平成31年度 1二、三、四

1

高橋さんの学級では、生活の中で気になったことを調べ、友達に報告することになりました。高橋さんは、公衆電話について調べています。次は、高橋さんが書いてある【報告する文章】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【報告する文章】

公衆電話について

高橋 めぐみ

1 はじめに

先日外出したときに、家に電話をかけようと近くの店に行くと、あったはずの公衆電話がなくなっていて、こまってしまいました。また、よく行く公園の公衆電話も、いつの間になくなっていました。わたしは、公衆電話の数が減っているのではないかと思い、町の公衆電話の数を調べてみることにしました。それをまとめたものが〈資料1〉です。平成二十年度から二十九年度までの十年間で、約半分にまで減っていることが分かりました。そこで、公衆電話は、わたしたちにとって必要がなくなってしまったのかどうか調べてみることにしました。

2 調査の内容と結果

(1) 公衆電話はどのようなときに必要なのか

多くの人がけいたい電話を持つ中で、公衆電話が必要とされているのかどうかを調べてみることにしました。そこで、地いきの人三十人を調査の^アたいしようとして、公衆電話は必要かどうかを聞いたところ、ほとんどの人が必要だと回答しました。その理由をまとめたものが〈資料2〉です。「けいたい電話をわすれたときに必要」、「けいたい電話の電池が切れたときに必要」などの回答がありました。このことから、公衆電話は、主にけいたい電話を使うことができないときに必要とされているということが分かりました。

(2) 公衆電話にはどのような使い方や特ちょうがあるのか

公衆電話について書かれた資料を調べてみると、公衆電話には、次のような使い方や特ちょうがありました。

- ・警察署（110番）や消防署（119番）には、硬貨やテレホンカードがなくても通報することができる。
- ・停電のときでも、硬貨を使って通話することがができる。
- ・電話が混み合っているときでも、優先的につながりやすい。

このように、公衆電話は、きん急のときにも使うことができるということが分かりました。

(3) 公衆電話はどのような場所にあるのか

公衆電話を必要などきに使うことができるようにするためには、どのような場所に設置されているのかを前もって知っておくことが大切だと思ったので、わたしは、公衆電話の設置場所を確かめてみることにしました。実際に町を歩いてまとめたものが〈資料3〉です。

3 調査の結果をもとに考えたこと

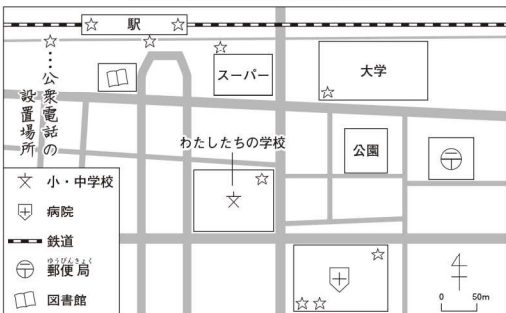
この資料から、公衆電話は、主に病院や学校、駅などの多くの人が集まる場所にあるということが分かりました。

調査の結果から、公衆電話は、わたしたちにとって必要がなくなってしまったわけではないと考えました。なぜなら、

また、公衆電話を使いたいときには、多くの人が集まる場所へ行けば見つけやすいのではないかとことも考えました。今回の調査を通して知ったことを、学級の友達にイカざらず多くの友達に伝え、公衆電話についてウかんしんをもってもらいたいと思います。

〈資料3〉

公衆電話の設置場所を示した地図



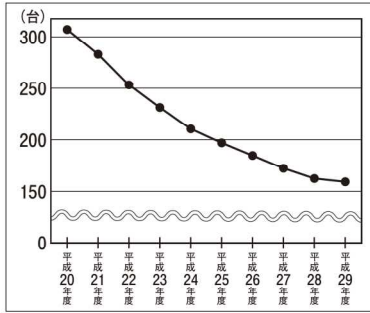
〈資料2〉

公衆電話が必要な理由のまとめ(複数回答)

けいたい電話をわすれたときに必要	22人
けいたい電話の電池が切れたときに必要	12人
けいたい電話の使用が禁止されている場所にいるときに必要	5人
けいたい電話の電波がとどかない場所にいるときに必要	4人
けいたい電話や家の電話がつながりにくいときに必要	3人
その他	5人

〈資料1〉

公衆電話設置台数の移り変わり



※ 問題は、次のページに続きます。

四 高橋さんは、【報告する文章】を書き終え、読み返しています。次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

- (1) 高橋さんは、習っている漢字がひらがなになっているところがあることに気がつき、書き直すことにしました。【報告する文章】の――部アからウのひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

そこで、地いきの人三十人を調査の ア たいしようとして、公衆電話は必要かどうかを聞いたところ、ほとんどの人が必要だと回答しました。

ア

今回の調査を通して知ったことを、学級の友達に イ かぎらず多くの友達に伝え、公衆電話について ウ かんしんをもってもらいたいと思います。

イ

ウ

- (2) 高橋さんは、読み手に伝わりやすくするために、【報告する文章】の

--

 の文を二つの文に分けて書き直すことにしました。文と文をつなぐ言葉には「そこで」を使います。書き直した一文目の終わりの五文字と、二文目の「そこで、」に続く五文字を書きましよう。なお、読点(、)も字数にふくみます。

公衆電話を必要なときに使うことができるようにするためには、どのような場所に設置されているのかを前もって知っておくことが大切だと思ったので、わたしは、公衆電話の設置場所を確かめてみることにしました。

--	--	--	--	--

。そこで、

--	--	--	--	--

平成31年度 1二、三、四

- 1 高橋さんの学級では、生活の中で気になったことを調べ、友達に報告することになりました。高橋さんは、公衆電話について調べています。次は、高橋さんが書いてある【報告する文章】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【報告する文章】

公衆電話について

高橋 めぐみ

1 はじめに
先日外出したときに、家に電話をかけようと近くの店に行くと、あったはずの公衆電話がなくなっていて、こまってしまいました。また、よく行く公園の公衆電話も、いつの間になくなっていました。わたしは、公衆電話の数が減っているのではないかと思い、町の公衆電話の数を調べてみることにしました。それをまとめたものが〈資料1〉です。平成二十年度から二十九年度までの十年間で、約半分にまで減っていることが分かりました。そこで、公衆電話は、わたしたちにとって必要がなくなってしまったのかどうか調べてみることにしました。

2 調査の内容と結果

(1) 公衆電話はどのようなときに必要なのか
多くの人がけいたい電話を持つ中で、公衆電話が必要とされているのかどうかを調べてみることにしました。
そこで、地いきの人三十人を調査の^アたいしようとして、公衆電話は必要かどうかを聞いたところ、ほとんどの人が必要だと回答しました。その理由をまとめたものが〈資料2〉です。
「けいたい電話をわすれたときに必要」、「けいたい電話の電池が切れたときに必要」などの回答がありました。
このことから、公衆電話は、主にけいたい電話を使うことができないときに必要とされているということが分かりました。

(2) 公衆電話にはどのような使い方や特ちょうがあるのか
公衆電話について書かれた資料を調べてみると、公衆電話には、次のような使い方や特ちょうがありました。
・警察署(110番)や消防署(119番)には、硬貨やテレホンカードがなくても通報することができると。
・停電のときでも、硬貨を使って通話することができると。
・電話が混み合っているときでも、優先的につながりやすい。
このように、公衆電話は、きん急のときにも使うことができるということが分かりました。

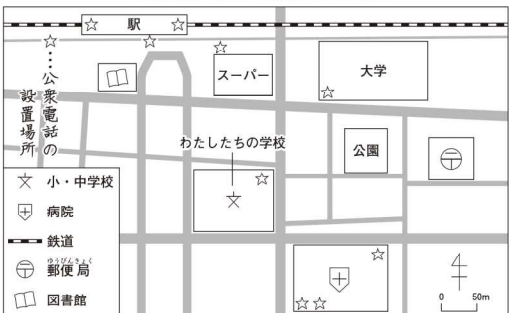
(3) 公衆電話はどのような場所にあるのか
公衆電話を必要などきに使うことができるようにするためには、どのような場所に設置されているのかを前もって知っておくことが大切だと思ったので、わたしは、公衆電話の設置場所を確かめてみることにしました。実際に町を歩いてまとめたものが〈資料3〉です。

3 調査の結果をもとに考えたこと

調査の結果から、公衆電話は、わたしたちにとって必要がなくなってしまったわけではないと考えました。なぜなら、

また、公衆電話を使いたいときには、多くの人が集まる場所へ行けば見つけやすいのではないかとことも考えました。
今回の調査を通して知ったことを、学級の友達にイカざらず多くの友達に伝え、公衆電話についてウかんしんをもってもらいたいと思います。

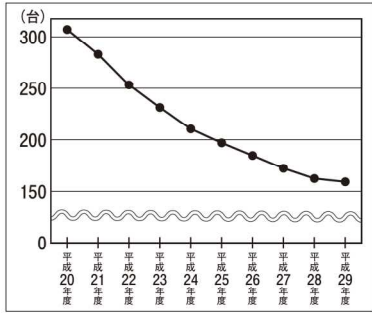
〈資料3〉
公衆電話の設置場所を示した地図



〈資料2〉
公衆電話が必要な理由のまとめ(複数回答)

けいたい電話をわすれたときに必要	22人
けいたい電話の電池が切れたときに必要	12人
けいたい電話の使用が禁止されている場所にいるときに必要	5人
けいたい電話の電波がとどかない場所にいるときに必要	4人
けいたい電話や家の電話がつながりにくいときに必要	3人
その他	5人

〈資料1〉
公衆電話設置台数の移り変わり



※ 問題は、次のページに続きます。

二 高橋さんは、「(2) 公衆電話にはどのような使い方や特ちょうがあるのか」の中で、公衆電話の使い方や特ちょうについて、くふうして書いています。そのくふうとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 情報を整理して伝えるために、ことがらを分けて並べて書いている。
- 2 自分の考えを強調するために、同じ言葉をくり返して書いている。
- 3 自分の考えのもととなる事実を示すために、図や表を用いて書いている。
- 4 相手の理解を助けるために、使い方の手順に従^{したが}って書いている。

解答らん

1

三 高橋さんは、「3 調査の結果をもとに考えたこと」の に「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書いています。 に入る内容を、次の条件に合^あわせて書きましよう。

〈条件〉

- 「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)の両方から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 【報告する文章】にふさわしい表現で書くこと。
- 書き出しの言葉に続けて、四十字以上、七十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

※◆の印から書きましよう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましよう。

調査の結果から、公衆電話は、わたしたちにとって必要がなくなってしまうたわけではないと考えました。	なぜなら、	例◆	公しゅ電話は、主にけいたい電
話を使うことができないときに必要とされて	いたり、	きん急のときにも使	うことができた
りするからです。			

70字

40字

※ 問題は、次のページに続きます。

四 高橋さんは、【報告する文章】を書き終え、読み返しています。次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

- (1) 高橋さんは、習っている漢字がひらがなになっているところがあることに気がつき、書き直すことにしました。【報告する文章】の――部アからウのひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

そこで、地いきの人三十人を調査の^アたいしようとして、公衆電話は必要かどうかを聞いたところ、ほとんどの人が必要だと回答しました。

ア 対象

今回の調査を通して知ったことを、学級の友達に^イかぎらず多くの友達に伝え、公衆電話についてウかんしんをもってもらいたいと思います。

イ 限 (らず)

ウ 関心

- (2) 高橋さんは、読み手に伝わりやすくするために、【報告する文章】の^ウの文を二つの文に分けて書き直すことにしました。文と文をつなぐ言葉には「そこで」を使います。書き直した一文目の終わりの五文字と、二文目の「そこで、」に続く五文字を書きましよう。なお、読点(、)も字数にふくみます。

公衆電話を必要なときに使うことができるようにするためには、どのような場所に設置されているのかを前もって知っておくことが大切だと思ったので、わたしは、公衆電話の設置場所を確かめてみることにしました。

例

思いました。

そこで、

わたしは、